

## 「そのとき、そこにいる人」のためのまちとミュージアム —たまたまおなじ時間を共にする場の可能性—

### 【趣旨】

2015年の北陸新幹線開業をきっかけに国内外から多くの観光客を呼び込むことに成功した金沢市では、新型コロナウイルス感染症により観光業が大きな打撃を受けました。そうしたなか、これまで「住民」に対する「来訪者」という構図のなかで語られてきた観光やまちづくりに変化のきざしが見え始めています。それは「住民」と「来訪者」の区別をせずに、「そのとき、そこにいる人」を受け入れ、ともにまちの魅力にふれる時間を過ごすというアプローチです。個性豊かなミュージアムには、人びとがまちの歴史や文化やくらしに触れて、他者と出会い、交感するための有力な結節点となる可能性があります。

このたびの研究会では、まちづくりやミュージアムに関わりの深いお二人をお迎えして、さまざまな背景を持つ人びとがフラットに「たまたまおなじ時間を共にする場」としてのまちやミュージアムの可能性を考えたいと思います。コロナ禍で今まで以上に「住民」と「来訪者」の峻別が意識されるなかであって、その垣根をしなやかに飛び越えるようなこれからのミュージアムのあり方を描く機会となることを期待して開催するものです。

### 日時

2021年 12月4日(土) 13時30分～16時ごろ終了予定

### 開催方法

ZOOMによるオンライン開催

### 参加対象

JMMA会員および博物館やまちづくりに関心のある一般の方や学生

### プログラム

- 趣旨説明 角谷 修 (JMMA中部支部長/金沢美術工芸大学)
- 第1部 個別発表
  - ①「そのとき、そこにいる人」のためのまちづくりの可能性(仮)  
岩本歩弓 (地域プロデューサー)
  - ②「そのとき、そこにいる人」のためのミュージアムと実践(仮)  
中田耕市 (金沢21世紀美術館 学芸員)
- 第2部: パネルディスカッション  
パネラー: 岩本歩弓、中田耕市  
コーディネーター: 加藤謙一 (JMMA中部支部幹事/金沢学院大学)

### 申込方法

- 参加お申込みは、12月1日(水)までに下記申込フォームからお願いします
- お申込みいただいた方には開催の前々日を目安にZOOMアドレス等をお知らせいたします

**参加申込みフォーム** <https://ssl.edinc.net/research/>  
(申込研究会名は中部支部を選択して下さい)